

平成27年度 魚沼市音楽部 活動報告

部長 山川 和子

1 はじめに

子どもたちが思いや意図をもって主体的に表現していくためには、教師の指導力の向上が大切である。そこで、今年度は2つの研修を行った。

2 研究の概要

(1) 第1回小学校音楽部会

- ① 期日 平成27年4月16日
- ② 会場 小出郷文化会館
- ③ 内容 今年度の活動計画の検討

(2) 第2回小学校音楽部会

- ① 期日 平成27年8月10日
- ② 会場 魚沼市立伊米ヶ崎小学校
- ③ 内容 合唱指導講習
講師 湯之谷中学校教諭
駒形 加奈子 様



(3) 第3回小学校音楽部会

- ① 期日 平成27年11月6日
- ② 会場 小千谷市立片貝小学校
- ③ 内容 第44回中越音楽研究会研究大会参加

3 研究の実際

(1) 合唱指導講習

地声にならずに歌うコツを、実際に声を出しながら研修していった。歌詞をはっきり伝えるには、子音を前に飛ばすことや文節の最初の音をはっきり発音すること等、留意点を教わった。楽譜は「作曲家からの手紙」「音楽の設計図」。楽譜に忠実に詩のイメージを吟味し、曲想を表現する方法も学んだ。駒形先生の指示は、とてもわかりやすい。腹筋を使う時は、「おなかスイッチをいれ、しゃっくりの声を出す。」と具体的だ。子どもがイメージしやすいように指示を出すことの大切さを学んだ。駒形先生の指導で歌声がみるみる変わり、その有効性を肌で感じる事ができた。

(2) 第44回中越音楽研究会研究大会

片貝小学校6年生「片貝祭りへの思いをのせてうたおう～木遣マスターへの道」、片貝中学校2年生「ペアで2重奏を創作しよう」の授業を参観し、主体的に表現する子どもにするための指導法を研修した。感動や魅力のある教材との出会いや活動の工夫をすること、自ら表現するために必要な知識やスキルを明らかにすること、主体的に表現したときの「思い」を明らかにすることの大切さを学んだ。

4 おわりに

2つの研修を通して、主体的な表現力を高めるには「教材との出会い」「スキルの獲得」「思いを育む」の3つの窓口から迫っていくことが大切だということが明らかになった。研修で学んだことを日々の授業で生かし、思いや意図をもって主体的に表現する授業の具現をめざしていきたい。